

GPS 気象学国際ワークショップ—GPS Meteorology: Ground—Based and Space—Borne Applications—	2003年1月14日 ～16日	文部科学省, (社)科学技術国際交流センター (後援) 気象庁, 国土地理院, 日本気象学会, 日本測地学会	筑波研究交流センター(茨城県つくば市竹園2-20-5)	http://www.mri-jma.go.jp/Workshop/gpsmet/
第8回大気科学とその大気質への応用国際会議	2003年3月11日 ～13日	(主催) The Coordinating Committee of ASAAQ (後援) 日本気象学会	つくば国際会議場 (茨城県つくば市竹園2-20-3)	
日本気象学会2003年度春季大会	2003年5月21日 ～24日	日本気象学会	つくば国際会議場 (茨城県つくば市竹園2-20-3)	http://www.soc.nii.ac.jp/msj/others/meeting.html
第13回ゴールドシュミット国際会議	2003年9月7日 ～12日	日本地球化学会 (後援) 日本気象学会	くらしき作陽大学 (岡山県倉敷市玉島長尾3515)	



第25回極域気水圏シンポジウム開催のご案内

国立極地研究所では毎年極域に関わる研究をテーマとしたシンポジウムを開催しております。このうちの大気、雪氷、海洋圏の研究に関する極域気水圏シンポジウムを本年も開催することとなりました。

現在南極地域では、日本南極地域観測隊による短期間の集中観測として5か年計画で「極域大気—雪氷—海洋圏における環境変動機構に関する研究」が終了し、新たに「南極域からみた地球規模環境変化の総合研究」がスタートしました。また長期間の観測を主目的とした「地球環境変動に伴う大気・氷床・海洋のモニタリング」, 「衛星データによる極域地球環境変動のモニタリング」が継続して実施されています。国内ではこれまでに得られた観測データ、試料等による研究が進展しています。特にドームふじ観測拠点で得られた氷床コア、大気中及び雪氷中の微量成分分析データ等を利用した研究からさまざまな成果が得られています。一方北極地域では、スバルバル、グリーンラン

ド、カナダ、シベリア等多くの地域において、大気、雪氷、海洋に関する多岐にわたる観測・研究が行われています。

これまでの諸観測から得られた資試料の解析結果はもとより、南北両極・寒冷域を主な対象とした大気科学、雪氷学、海洋学に関する研究成果、研究展望などを議論するシンポジウムを下記のとおり開催いたします。広く発表を受け付けておりますので、ご応募くださるようご案内申し上げます。

日 時：2002年11月20日(水)、21日(木)

会 場：国立極地研究所 6階講堂

申込締切：2002年9月24日(火) 必着

問合せ先：国立極地研究所 本山秀明、岡崎美紀

〒173-8515 東京都板橋区加賀1-9-10

e-mail : icesamp@pmg.nipr.ac.jp

Tel : 03-3962-7125, 03-3962-5517

Fax : 03-3962-5719